

学校教育についてのアンケート結果について

阿波市立伊沢小学校

グラフの見方

それぞれの項目について、保護者評価は（保護者）、職員評価は（職員）と表記しています。観点別結果は別紙をご覧ください。

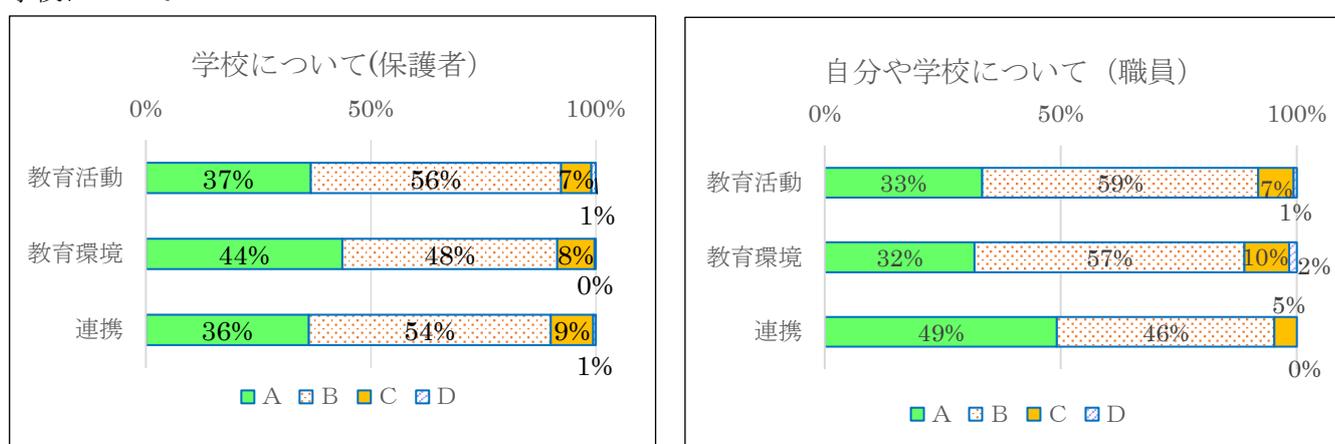
A: そう思う。または、できている。

B: どちらかというと思う。または、どちらかといえばできている。

C: どちらかというと思わない。または、どちらかといえばできていない。

D: そうは思わない。または、できていない。

1 学校について



(1) 教育活動について

学校目標については、年度始めの PTA 総会や学校だより等でお伝えし、その周知については、保護者の方々から 85%という高評価をいただきました。アンケートで「学校に行くのは楽しい」と答えた児童は 86%であり、保護者の方々からの A・B 評価は 95%ではありますが、保護者・職員とも課題があると感じている（C・D 評価）の割合は、どちらも 8%となっております。今後も子どもたち一人一人としっかりと向き合うとともに、基礎基本の定着を目指して分かりやすい授業を心がけてまいります。

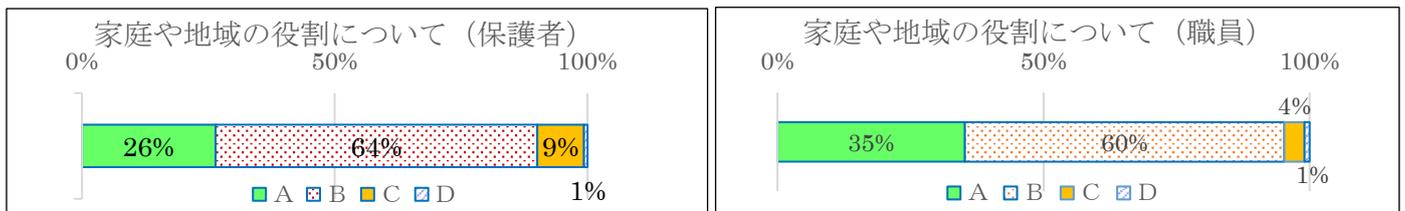
(2) 教育環境について

「整理整頓に気を配り、いつもきれいであるか」に対する保護者評価は 89%と高評価となっております。児童の清掃活動に対する熱心な取組の成果でもあると思われまます。しかし、施設・設備の中には古くなっているものもあることから、定期的に安全点検を実施するとともに、修繕や取り替えが必要な場合は早期に対応していくようにいたします。

(3) 連携について

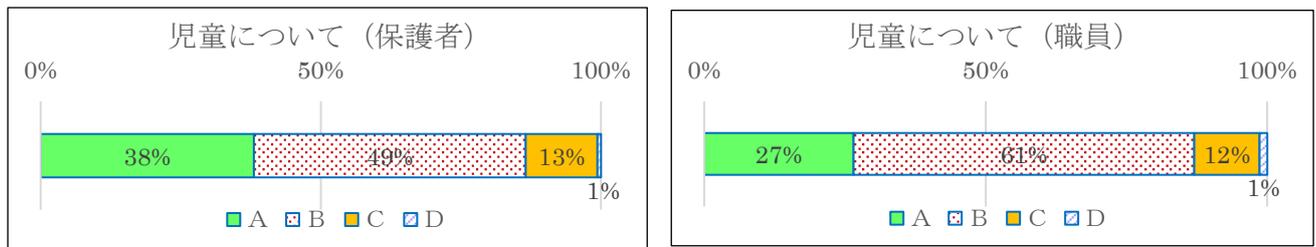
「地域と連携し、地域の支援を得て子育てを進めているか」に対する保護者評価は 84%でした。本校は、教育活動全般において地域のいろいろな方々からの協力を得て充実した体験活動を実施することができています。2020 年度から新学習指導要領における教育活動が開始となりますが、その中でも地域との連携を位置づけ意義深い活動ができるようにしていきたいと考えております。また、児童の教育活動については、懇談や学年通信を通じて保護者の皆様に分かりやすく発信するよう工夫していきます。

2 家庭・地域の役割について



「基本的な生活習慣や家庭学習、社会のルールが身に付くように努めているか」は80%であり、「健やかな成長のためにのためにふれあいや対話をもつようにしている」は84%でした。家庭におけるスマホやタブレットの使用時間の増加や睡眠時間の減少等が課題となっています。学校は家庭と連携しつつ児童に望ましい生活習慣がつくように努めたいと思います。また、家庭での対話は、児童の情緒を安定させるとともに、悩み等心身の変調への早期での気づきにもつながります。お忙しいとは思いますが、少しでも対話の時間を確保していただけたらと思います。年間を通して実施しているPTA行事には、積極的に参加いただき、大変ありがたく思っております。今後もそのような機会を通して学校の取組や児童のがんばりを発信していくようにいたします。

3 子どもについて



「学校へ行くのを楽しみにしている」88%、「友達と仲よく助け合って、遊んだり勉強したりしている」90%と高評価ですが、「きまりを守り、規則正しい生活ができています」76%、「少しのことにくじけないでがんばろうとする気持ちや態度が育ってきている」77%という評価でした。学校では、今年度より「ポジティブな行動支援」を進めております。いさわだよりでもお知らせしましたが、「まんてんプロジェクト」という名前で具体的な目標を設定し、全校的に取り組んでいます。「チャイムの合図ですぐに学習を始める」「自分から進んであいさつをする」など、児童の行動もプラス方向に伸びてきています。保護者の方々からの励ましや賞賛も児童のがんばりにつながると思います。次年度も今年度の反省をもとに取組を続けていきたいと考えております。ご協力よろしくお願いたします。